

チーム医療 世界へ普及

群大に拠点

世界保健機関（WHO）の協力センターとしてチーム医療の人材育成に取り組んでいる群馬大（高田邦昭学長）は21日、前橋市昭和町の同大医学部附属病院敷地内の共用施設棟7階に、活動拠点である多職種連携教育研究研修センター（渡辺秀臣センター長）の看板を設置、本格始動した。

看板を掲げた高田学長は「これからはチー



ム医療の時代。声高に叫ばれているが、現実問題としてできていな

看板を設置する高田学長（右）と渡辺センター長（中央）ら

い現場もある。先進的な取り組みを群馬モデルとして世界に示したい」と話した。

インドネシアやモンゴルから医師資格がある大学教員らを受け入れるほか、ラオスに出入りするなどしてチーム医療の普及に向けて国際的な研究や研修を進めていく。同大のWHO協力センターは、保健人材育成分野で国内唯一の指定となっている。